

# 「ほっかいどう応援団会議運営支援事業」委託業務 企画提案指示書

## 1 業務名

「ほっかいどう応援団会議運営支援事業」委託業務

## 2 業務の目的

道・市町村に対する多様な支援の獲得及び関係人口の拡大に向け、道内外の企業・団体等を対象としたセミナーの開催等を通じて、北海道を応援していただく方々のネットワーク「ほっかいどう応援団会議」（以下、「応援団会議」という。）の効果的・効率的な運営を図る。

## 3 委託業務の内容

### (1) 「ほっかいどう応援セミナー」の開催

知事や道内市町村長が、地域の課題解決に向けて、企業からの支援を望むプロジェクト等についてプレゼンテーションを行うとともに、市町村が参加企業に対し地域の魅力発信や協働の提案等を行える場を設置し、さらなる連携事業の創出を目指す。

〔実施事項〕

- ・ セミナーの企画立案
- ・ 開催準備（会場手配、セミナー開催案内（A4・全面カラー・片面・90キロ以上・1,000部、電子媒体）、運営マニュアルの作成等）
- ・ 道内、首都圏、名阪のほっかいどう応援団会議未参加企業への周知（応援団会議への参加、セミナー出席依頼）
- ・ 当日の運営（受付、進行、音響操作、動画撮影（アーカイブ用編集含む）等）

〔日程・概要等〕

区分	東京開催	札幌開催	名阪開催
日程 (予定)	令和5年(2023年)10月	令和6年(2024年)1月	令和6年(2024年)2月
会場	東京都内ホテル等	札幌市内ホテル等	名阪地域ホテル等
人数規模	200名程度	200名程度	200名程度
内容	【第1部】 知事・市町村長によるプレゼン [1時間程度] 【第2部】 交流イベント [1時間程度]		

〔留意事項〕

#### ① 共通事項

- ・ 会場は、多くの企業が参加できるよう配慮すること。
- ・ 参加企業を対象にアンケート調査を行い、その結果を取りまとめ、効率的かつ効果的に企業のニーズが把握できるよう工夫をすること。
- ・ 開催後に参加市町村を対象に聞き取り調査等を行い、得られた結果（感想、改善要望等）を次年度開催にフィードバックできるような工夫をすること。

#### ② 知事・市町村長によるプレゼン

- ・ 道・市町村（地域おこし協力隊含む）が地域の魅力や企業からの支援を望むプロジェクト等について、効果的にプレゼンテーションを行える構成とすること。

#### ③ 交流イベント

- ・ プレゼン会場とは別会場で、市町村が参加企業に対して、地域の魅力発信や企業との連携・協働の提案等が行え、個別のマッチングから事後の具体的な連携事業や寄附等への発展も期待できるようなイベントを企画・提案すること。

- ・ 多くの市町村が参加可能であるとともに、対面、オンライン、動画上映などの手法を用いた地域おこし協力隊によるPRが可能な企画とすること。
- ・ 資料配架やパネル設置のほか、市町村と企業が個別に情報交換等を行えるスペースを用意するなど、活発な交流を促す場の創出に向けた工夫をすること。

## (2) PRパンフレットの製作

企業・団体及び個人に対し、応援団会議への参加やさらなる連携事業の創出に向け、応援団会議の取組や企業版ふるさと納税制度の概要のほか、道や市町村において支援を求める取組等をPRするパンフレット等を企画し、製作する。

### 〔実施事項〕

- ① 企業・団体向けPRパンフレット
  - ・ 「ほっかいどう応援団会議」及び「企業版ふるさと納税（人材派遣型含む）」に関心を持ってもらえるよう、制度の趣旨や目的、応援事例（包括連携協定による取組含む）・活用事例（寄附企業の想いを受けた道の取組）などをわかりやすく説明したパンフレット
  - ・ A3・全面カラー・両面・二つ折り・90キロ以上・7,000部、電子媒体
- ② 個人向けPRパンフレット
  - ・ 応援団会議の個人会員である「道（ど）ファン子」及び「個人版ふるさと納税」に関心を持ってもらえるよう、制度の趣旨や目的、キャンペーンの概要や道・市町村での寄附金の活用事例などをわかりやすく説明したパンフレット
  - ・ A3・全面カラー・両面・二つ折り・90キロ以上・5,000部、電子媒体
- ③ 寄附・協働事業PRデジタルパンフレット等
  - ・ 道内市町村が企業へ支援（寄附、協働の取組など）を求める取組をまとめたデジタルパンフレット（掲載に係る基本データは道より提供）
  - ・ 100ページ・全面カラー、印刷用電子媒体の製作を含む

## (3) 「道ファン子」拡大キャンペーンの実施

応援団会議の個人会員（LINE・Facebook登録者）である「道ファン子」の参加数の拡大に加え、継続的な北海道への応援につながるキャンペーンを行う。（年2回以上）

### 〔実施事項〕

- ・ キャンペーンの企画立案・実施
- ・ キャンペーンの広報（チラシ（A4・全面カラー・両面・90キロ以上・1,000部、電子媒体）SNS等）
- ・ 物品の購入・発送

### 〔留意事項〕

- ・ 道ファン子の獲得はもとより、「どさんこプラザ」や応援団会議参加企業等と連携し、北海道を「飲んで」「食べて」「来て」「見て」応援するなど、具体的かつ継続的な応援につながるキャンペーンを企画・提案すること。
- ・ 現在、道で使用しているSNSについては、SNS運用ポリシーによりID等の利用者情報を共有できないため留意すること。
- ・ 実施時期については、適時協議の上決定するが、ふるさと納税の時期等を勘案し、より効果的な時期に実施すること。

## (4) 応援団会議知事PR動画、宣材写真の撮影

応援団会議ポータルサイト、北海道公式YouTubeチャンネルやSNSのほか、イベント開催・出展等で発信するため、北海道の魅力のPRや応援団会議への参加を呼びかける知事出演のプロモーション動画及び宣材写真の撮影・制作を行う。

### 〔実施事項〕

- ・ 知事PR動画（1分、30秒（又は15秒）の2種類）、宣材写真の企画・撮影

[留意事項]

- ・ 動画については、例えば道外での物産展など、道外在住者へ北海道をPRするイベント等を使用するほか、SNSでの発信に活用するため、キャッチーでわかりやすい内容とすること。  
なお、動画の長さについては、使用方法にあわせ、より効果的と思われる長さで提案して構わないこと。

#### (5) 広報・啓発物品の製作

イベント開催・出展時等において応援団会議をPRするため、啓発グッズ及びバナースタンドを製作する。

[実施事項]

- ・ 啓発グッズのデザイン及び製作（1種類、5,000個程度）
- ・ バナースタンドのデザイン及び製作（2台）

[留意事項]

##### ① 啓発グッズ

- ・ 種類及び個数については、最低限のものであり、これ以上の提案も可能であること。
- ・ 道外を含む各種イベント時の配布を想定しており、受け取った方々が北海道をイメージ可能な商品等とすること。

##### ② バナースタンド

- ・ 道外を含む各種イベント時の使用を想定しており、応援団会議をPRするため、視認性が高い内容・規格とするほか、簡易に持ち運びが可能なものとする。

#### (6) 報告書の作成

事業実施結果報告書を作成する（紙媒体2部 電子媒体1部）。

なお、本事業における成果品の所有権及び著作権は道に帰属するものとし、著作権、肖像権等に関して権利者の許諾が必要な場合は、受託者において必要な権利処理を行うものとする。

#### 4 委託期間（予定）

契約締結日から令和6年（2024年）3月15日（金）まで

#### 5 予算上限額（消費税及び地方消費税相当額を含む）

16,950,000 円

#### 6 業務上の留意事項

業務内容の詳細については、企画提案の内容を基本として、北海道と受託者が協議して決定する。

#### 7 提案方法

企画提案指示書に沿った企画提案書を別紙「「ほっかいどう応援団会議運営支援事業」委託業務企画提案書作成要領」に基づき作成し、必要部数を提出すること。

#### 8 提出期限

令和5年（2023年）7月24日（月）17:00（必着）

#### 9 提出先

北海道総合政策部官民連携推進局（担当：高嶋、筒井、丹野）  
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目  
電話：011-204-5158（直通）

## 10 企画提案書に関するヒアリング

企画提案された内容は、プロポーザル審査会においてヒアリングを実施する。

- (1) 日時、場所等については、別途通知する。
- (2) ヒアリングでは、提案者から企画提案書に記載された内容について説明後、質疑を行う。

## 11 その他

- (1) 企画提案書の作成・提出に係る費用は、提出者の負担とする。
- (2) 電子メールによる提出は認めない。
- (3) 要求した以外の書類、函面等については受理しない。
- (4) 期限までに企画提案書の提出がない場合は、「参加表明書」の提出があっても参加の意思がないものとみなす。
- (5) 審査に当たっては、企画提案書は匿名とし、別に指示する事業者名（A社、B社等）により行うものとする。
- (6) 企画提案の採否は、文書で通知する。
- (7) 選定された企画提案書は返却しない。ただし、選定されなかった企画提案書は、企画提案書の提出時に返却を希望した者に限り返却する。
- (8) 本事業の実施状況を確認するため、本事業の開始から終了までの間に北海道の求めに応じて打合せを行うこととする。